

目 次

阪神・淡路大震災被害の特徴一序にかえて

第1章 調査の概要	1
1.1 調査の内容および流れ	1
1.2 「神戸 JIBANKUN」の構築	4
1.2.1 システムの内容	4
1.2.2 データの構成	6
第2章 神戸の地盤	13
2.1 地形概要	13
2.2 地質概要	17
2.2.1 地質構成	19
2.2.2 地質構造	23
2.3 地盤構成	26
2.3.1 概 要	26
2.3.2 各地域の地盤構成	26
2.3.3 沖積層の特徴	47
2.4 土質特性	49
2.4.1 概 要	49
2.4.2 砂礫質土の粒度分布	49
2.4.3 粘性土の特質	53
2.5 地下水位	63
2.5.1 地下水位分布	63
2.5.2 表層地質との関連	63
2.5.3 まとめ	65
2.5.4 今後の問題点	65

第3章 兵庫県南部地震による各種被害と地形・地質との関連分析	68
3.1 被害の概要	68
3.1.1 建物被害	68
3.1.2 土木構造物被害および地震による地盤変位	73
3.2 被害と地形・地質との関連分析	83
3.2.1 分析に用いる地形・地質データ	83
3.2.2 建物被害と地形・地質	92
3.2.3 土木構造物被害および地盤変位データと地形・地質	118
3.3 液状化と地震被害	149
3.3.1 噴砂の分布	149
3.3.2 「神戸 JIBANKUN」による液状化判定	149
3.3.3 液状化と地震被害	155
3.3.4 液状化の評価に関する今後の検討	155
第4章 まとめ	157
4.1 「神戸 JIBANKUN」から得られた新しい成果	157
4.2 「神戸 JIBANKUN」構築の背景および意義	160
4.3 今後の課題	162
 (巻末資料)	
● 基準ボーリング調査結果	165
● 委員会、事務局の構成表	178